

っまっいー！OKー！

いっしょうけんめい病気の母の代わりに自分
たちでできることは何でもやろうとしている
のに、健はなにもあかってないと思っていた
が、本当は私よりお母さんを心配していたの
でっえのめっを感じがした。お父さんが買っ
てきたシクラメンの赤色は命の炎のような真
っ赤な花で、ピンクはやさしいふいんををか
もしだしていてせいっばい咲いていた。お母
さんはそこにいるだけで元気が出る気がして
まるでシクラメンのようだと思った。それを
つぶやくとふいになみだが出て来てお母さん
の目もきらってひかっっていた。

第15回

シクラメンの色のこととお母さんのこととがうまっ
つなびなっますー！